

ひきこもりからの自立

5月の末、40代半ばの母親が、実兄の紹介で来られた。当時18歳の息子のひきこもりの相談だった。

家族に、母親より5歳上の職人の父親に、年子の妹、70代半ばの祖母がいた。父親と同じ職人だった祖父は、10年ほど前に亡くなっていた。

小学5年生の頃から学習に行き詰まり始めたと、彼は言ったが、学校には通っていた。徒歩で30分かかる中学校に上がった4月中旬、登校途中便意をもよおし、急いで帰宅。それを機に学校に行かなくなった。

母親は父親に相談しても、最初の頃は彼と話す訳でもなく、何も動かなかった。父親は子どものことは、すべて母親任せだった。その後父親は、当時の同業者組合の役員を受けイラつくことが多くなり、不登校が長くなり始めた彼に、言葉の暴力を振るうようになった。彼が小さい頃から、父親が彼を褒めた記憶はない、と母親は言う。

それでも、時々近所の友達が誘いに来てくれて、登校することもあった。2年間で出席が55日程度であった。心配した7歳上の父親の実姉の娘（彼の従妹）が時々勉強を教えて、学校に行くように言うと、登校するような状態だった。

3年生になると突然、「俺は高校に行く」と言って学校に行き始めた。彼の変わりように、家族は驚いた。しかし、進学した高校は1年の終わりに、これまた突然中退してしまった。バイク（と言ってもカブだったが）で遊び回る日々が続いた。17歳になると、彼曰く「楽しむ場として」、市の教育センターに通い始めた。しかし長くは続かず、2か月ほどで家にひきこもるようになった。「家に居るんだったら、家の仕事を手伝え！」と言う父親に、「アルバイトを探そう！」と言ってバイクで探し始めた。「中卒では仕事に就くのは不利だと実感した」と、彼は言っていたようだ。アルバイトは見つからず、かといって家業は継ぎたくない。再び彼は、自分の部屋にひきこもるようになった。

母親の実兄（彼の叔父）の説得で、翌月の半ば、彼が私の元に来た。

「俺を完全な形で社会の中に産み落とさない親が悪い。生きていけない社会にしている親が悪い。（私が言った）社会は自ら築いていくもの、とは思わない。親が築くものだ。（これも私が言った）幸・不幸は個人が感じるもの、ではなく、親がそういう社会にしている。それに、俺をコリン性蕁麻疹の体に産み、運動ができなくした親が悪い。勉強が分からなくなるような俺を産んだ親が悪い。だから、俺が働けるようにするのは親の責任だ。」と、彼は捲し立てた。すべてを親の責任にした。そして、どういう関係か、紙に図を描きながら、キリスト教の天動説を語り始めた。己を中心に世界は回っているとでも言いたかったのか。ここに、その時描いた数枚のB5サイズの紙が3枚ある。

彼と今後はどうするかとの話になったが、キリスト教を考える以外今は何もしたくもない。（何の考えか分からなかったが）考えがまとまったら、彼から連絡する、とのことだった。その旨、彼に私を紹介した母親の実兄（彼の叔父）に伝えた。

3 か月後、母親が来た。

彼にガスボンベを買って来て、と言われ、自殺を考えているのか、怖くなって断った。当時高校3年の娘の進路の件と、彼のことで心身とも疲れ、前日から母親の実家に帰って静養している、とのことだった。その後も父親は全く関与しないから、離婚を考えている、とのことだった。私から母親の義母に母親の状況を話し、父親が彼に対応することを伝えるように、母親から依頼された。しかし父親は、母親不在の間に彼の対応や娘（彼の妹）の進学のことによって本当に困らないと、本腰を入れて動かないので、それまで待つて、父親または義母の連絡が来た時、私に連絡するように母親に伝えた。

3 日後の朝、娘（彼の妹）から母親に、彼女の高校の授業料の件でメールが来たので、母親は返信し、私の元に再び面談に来た。昼過ぎ、義母から母親の実家に電話があり、電話に出た母親の妹に、母親は大丈夫か心配し、娘は頭痛で学校を休んだことを伝えたと言う。

4 日後、母親の帰省を知った父親の実姉（彼の叔母）が彼の家で電話し、娘（彼の妹）に母親の状態はあなたのせい、父親（実弟）には息子（彼）と向かい合うべきだ、と伝えたと言う。

翌日朝、前述の通り彼が中学1、2年の間不登校の彼を心配し、彼に勉強を教えた当時26歳の彼の従妹（父親の実姉の娘）から私の元に電話がきた。彼の家の状態が心配で、彼の対応している私に会いたい、とのことだった。私も彼の家の状態を聴きたく午後、私の方から車で出向き、お会いした。聴くに、彼は母親は自分（彼）から逃げたと思っている。彼の妹は叔母（彼女の母親）から言われ、自分のせいで母親が精神的にまいっている、と思い込んでいる。彼女（彼の従妹）は彼の父親に、息子（彼）としっかり対峙すべきこと、彼の母親は今までひとりで彼のことを抱え込まされてきた結果が、今の母親の状態だ、と強く言ってきた、とのことだった。

その後夕方、父親と彼、彼の妹、義母が私に会いたいと連絡があり、彼の家に出向いた。翌日早朝、父親と彼、祖母（母親の義母）と三人で母親の実家に向かい、母親に会いに行くので、私に間に入って欲しいとのこと。彼の妹はその時、母親に話をしたいと伝えて欲しい、と頼まれた。

翌日昼、私の立ち合いですばは父親と母親と話し合った。父親と彼とで、私と話し合う日時・場所を決め、私に連絡をすること、夫婦のことは彼のことが落ち着いてから話し合う、との話になったところで、母親が過呼吸になってしまい、父親に帰ってもらった。従って、彼と義母は、母親に会えずに帰ることになってしまった。

1 週間後、父親から連絡があり、3 日後午後、私が彼の家に出向き、父親と彼と三人で話し合うことになった。

彼の家に行ったら、祖母（母親の義母）に、父親の実姉、その娘（彼の従妹）も居て、みんな話した。結果、働くことは義務であること、親の言う通りに従うことに、彼は同意した。

翌日も私も加わり、彼と父親、父親の実姉、祖母が、今度はフォーラムの事務所で話し合

った。私は翌年の1月、寮のある高校の1週間の宿泊体験を提案した。働くことも考え、パソコン等の技術の学習は、彼が調べることになった。

その翌日も、彼と祖母がフォーラムの事務所に来て、私を交え母親と面談した。宿泊体験は一旦保留になった。こちらでアパートを探して、家を出る。そして、こちらで仕事を探すことになった。

5日後、彼から電話があり、明日面接になった、結果はまた連絡するとのことだった。アパートはバイト先を決めてから探す、と言ってきた。

2日後、本人から連絡があり、昨日の面接はだめだったこと、今日は人材派遣会社の面接を受けた、とのことだった。身元保証人等の話が出たが、それは採用が決まってから先方より説明があるから、それに従えばいい、と伝えた。多分、面接でこちらで住んでいないし、アパートに住むと言ったから、面接官からそんな話が出たのだろう。今は何社も挑戦しよう、と伝えた。

その翌日、母親とフォーラムの事務所で会った。彼の就職長期戦の近況を伝えた。娘さんから申し出があった、母親とのメールのやり取りの承諾を得た。母親の状態を心配している、父親の仕事場で働いている母親の知人に、母親の状況を伝えることも了承してくれ、その知人とは8日後に会うことになった。

ところが、その5日後、父親から電話があり、私を告訴するとの話が出た。彼が家を出ること、離婚の話が出ていること、それらのことを私が先導しているがごとく思い込んでの話だった。今の彼の思いや動向は彼から父親に伝えさせること、私は彼の社会復帰の仕事を受けており、それ以外の夫婦の問題や母親自身のこと等は、私はその依頼を受けていないこと、母親が父親との面談で過呼吸を起こしたこと、母親の気持ちの安定のため、現在の状況にさせて頂いていること、「告訴」と言うのであれば、母親がどうなろうとも直接連絡をとるように伝え、電話を切った。

その後、父親は自身の母親に言われたのであろう。再び電話がきて、父親から謝罪を受けた。

彼の行動が、彼のみならず人の心をも動かした。それから2か月ほど、計20社を超す数の会社や事業所の面接を受け続けたが、いい結果は来なかった。ところが、私の知人が一生懸命に面談しては不採用の彼の姿を見て、彼と会って話をし、彼に取り合えずこちらでのバイト先を紹介してくれ、採用が決まった。今後はバイトしながら、パソコンの技術も身に付け、正社員で働く場所を探すことになった。結果こちらで、先に仕事も見つかり働いていた母親のアパートに入り、バイトを始めた。彼の妹も他県の大学に進学した。義母の同意もあり、夫婦は離婚となった。翌年の春、ハローワークでのパソコン研修も終え、同所で就職先も紹介され、働き始めた。